

連続用紙  
高機能印刷装置



用紙設計 解説書



連続用紙  
高機能印刷装置



用紙設計 解説書

お願い

本書および本書に記載されている製品をご使用になる前に、vページの『特記事項』を必ずお読みください。

原典： G544-3921-05  
Continuous Forms  
Advanced Function Printers  
Forms Design Reference

発行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担当： ナショナル・ランゲージ・サポート

第1刷 1998.11

この文書では、平成明朝体™W3、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、平成角ゴシック体™W5、および平成角ゴシック体™W7を使用しています。この(書体\*)は、(財)日本規格協会と使用契約を締結し使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

注\* 平成明朝体™W3、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、  
平成角ゴシック体™W5、平成角ゴシック体™W7

© Copyright International Business Machines Corporation 1991, 1998. All rights reserved.

Translation: © Copyright IBM Japan 1998

# 目次

特記事項	v	電子オーバーレー	39
商標	v	広告用紙	39
情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) 表示	vi	譲渡可能文書用紙	40
まえがき	vii	<b>第7章 特殊目的材料の選択</b>	<b>41</b>
対象者	vii	事前せん孔用紙	41
本書で扱う印刷装置	viii	ラベル	43
本書について	viii	ラベル設計	44
		ラベルのタイプ	44
		ラベル設計要件	45
<b>変更の要約</b>	<b>ix</b>	粘着材	46
		フェース・ストックの選択	46
		フェース・ストック紙	46
		台紙材料	46
		基本重量および厚さ	46
		平滑度	46
		推奨事項	46
		操作員の作業	47
<b>第1章 用紙選択の一般的指針</b>	<b>1</b>	<b>第8章 特殊なアプリケーションの開発</b>	<b>49</b>
用語	1	光学式文字認識用紙	49
サイズ	2	バーコード用紙	49
印刷域	4	色	50
規格と許容誤差	6	<b>第9章 用紙とアプリケーションのテスト</b>	<b>51</b>
ページの均一性	6	質疑応答：用紙とアプリケーションのテスト	51
用紙の許容誤差	7	理想的な用紙とアプリケーションとは?	51
スタック傾斜	8	用紙とアプリケーションをテストする時期は?	51
中くぼみ	10	テストにより何がわかりますか?	52
端の正確度	12	テスト結果をどう評価したらよいでしょうか?	53
ミシン目および送り穴の正確度	13	どのような種類のテストを実施すべきでしょう か?	53
ミシン目の折り畳み復元力	15	障害追及	55
ミシン目の膨らみ	16	裏側印刷	55
ミシン目の強度	16	<b>第10章 安全上の励行事項</b>	<b>57</b>
包装	19	ブランク用紙	57
輸送、保管、および操作環境	20	事前印刷用紙	57
		電子オーバーレー	58
		ラベル	58
		複数パーツ・ノーカーボン用紙	58
<b>第2章 高解像度印刷装置用の用紙の推奨 事項</b>	<b>23</b>	<b>頭字語および省略語</b>	<b>59</b>
<b>第3章 InfoPrint 62 の用紙仕様</b>	<b>25</b>	<b>用語集</b>	<b>61</b>
<b>第4章 InfoPrint 3000 の用紙仕様</b>	<b>27</b>	<b>索引</b>	<b>71</b>
<b>第5章 紙の選択</b>	<b>29</b>		
紙の品質	29		
紙ばこり汚染	31		
紙の重量と厚さ	31		
平滑度	32		
融着能力	33		
紙の選択に関する推奨事項の要約	34		
<b>第6章 事前印刷用紙の選択</b>	<b>37</b>		
一般推奨事項	37		
事前印刷用紙からの蒸気放出	39		



---

## 特記事項

本書において、日本では発表されていないIBM製品（機械およびプログラム）、プログラミングまたはサービスについて言及または説明する場合があります。しかし、このことは、弊社がこのようなIBM製品、プログラミングまたはサービスを、日本で発表する意図があることを必ずしも示すものではありません。本書で、IBMライセンス・プログラムまたは他のIBM製品に言及している部分があっても、このことは当該プログラムまたは製品のみが使用可能であることを意味するものではありません。これらのプログラムまたは製品に代えて、IBMの知的所有権を侵害することのない機能的に同等な他社のプログラム、製品またはサービスを使用することができます。ただし、IBMによって明示的に指定されたものを除き、これらのプログラムまたは製品に関連する稼働の評価および検証はお客様の責任で行っていただきます。

IBMおよび他社は、本書で説明する主題に関する特許権（特許出願を含む）商標権、または著作権を所有している場合があります。本書は、これらの特許権、商標権、および著作権について、本書で明示されている場合を除き、実施権、使用権等を許諾することを意味するものではありません。実施権、使用権等の許諾については、下記の宛先に、書面にてご照会ください。

〒106-0032 東京都港区六本木3丁目2-31  
AP事業所  
IBM World Trade Asia Corporation  
Intellectual Property Law & Licensing

---

## 商標

本書で使用されている以下の用語は、米国またはその他の国々における IBM Corporation の商標です。

AFCCU および Advanced Function Common Control Unit

AFP および Advanced Function Presentation

AIX®

AIX/6000

BCOCA および Bar Code Object Content Architecture

ESCON®

ES/3090

ES/4381

ES/9000

GDDM

IBM®

IPDS および Intelligent Printer Data Stream

MVS および MVS/SP

OS/2®

PS/2  
PSF および Print Services Facility  
RISC System/6000®  
System/360  
System/370

---

## 情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) 表示

### 電波障害自主規制 届出装置の記述

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。



---

## まえがき

本書は、IBM 連続用紙印刷装置のファミリーで使用可能な用紙および特殊目的媒体の重要な特性について説明します。

これらの印刷装置に関する詳細については、各印刷装置の入門と計画の手引きを参照してください。

広範囲な出力サプライ用品が利用可能です。 サプライ用品もさまざまあるため、最も適したサプライ用品を選択すれば連続用紙印刷装置から最良の結果を得ることが可能となります。 ユーザーの印刷装置を、利用可能なすべてのサプライ用品に適応させるには、追加の任意選択機構を必要とする場合があります。

---

## 対象者

本書は、用紙や特殊目的の材料、たとえば、ラベル、事前せん孔用紙、または事前印刷用紙などの発注担当者を対象としています。 また、事前印刷用紙、光学式文字認識 (OCR)、バーコード、その他例外的な印刷出力を使用するアプリケーションの開発担当者に役立つ情報も記載しています。

本書は順を追って通読する必要はありません。ただし、連続用紙印刷装置の用紙および関連出力用サプライ用品の調達担当者である場合は、本書に記載された事項すべてにわたって精通しておく必要があります。印刷装置がたとえ正しく稼働していても、用紙特性不良のために用紙を取り扱うのに問題が生じることがあります。

**注:** 出力結果の品質は、使用する用紙およびサプライ用品の特性ならびに品質次第です。

標準用紙については、29ページの『第5章 紙の選択』を参照してください。事前印刷用紙については、37ページの『第6章 事前印刷用紙の選択』を参照してください。

計画担当者や購買担当者は、取り引きのある用紙メーカーやサプライ用品納入業者にも本書を理解してもらう必要があるかもしれません。 本書には、詳細な技術情報が記載されており、個々のアプリケーションについて最適な製品選択の判断資料を提供します。 IBM は、満足のいくパフォーマンスを得るため、大量購入の前に、実際に用紙の印刷テストを行うことを強くお勧めします。

---

## 本書で扱う印刷装置

本書では、以下のマシン・タイプおよびモデル・タイプ (型式番号) を扱います。

印刷装置名	マシン・タイプ	型式番号
IBM 3900 高機能印刷装置	3900	001
IBM 3900 拡張印刷品質高機能印刷装置	3900	001
IBM 3900 ワイド高機能印刷装置	3900	0W1、0W3
IBM 3900 高機能両面印刷システム	3900	D01、D02
IBM 3900 高機能ワイド両面印刷システム	3900	DW1、DW2
IBM InfoPrint 4000	4000	IS1、IS2、ID1/ID2、ID3/ID4、 IR1/IR2、IR3/IR4、DR1/DR2
IBM InfoPrint 3000	3300	ES1、ED1/ED2
IBM InfoPrint 62	4370	002、003

---

## 本書について

本書は以下の章から構成されています。

- 1ページの『第1章 用紙選択の一般的指針』は、連続用紙印刷装置で使用する用紙すべてに適用される一般要件および推奨事項を記載しています。
- 23ページの『第2章 高解像度印刷装置用の用紙の推奨事項』は、高解像度印刷装置用の一般的な紙の推奨事項を記載しています。
- 29ページの『第5章 紙の選択』は、印刷品質および性能に影響を与える品質、重量、厚さ、その他の印刷特性を定義します。
- 37ページの『第6章 事前印刷用紙の選択』は、事前印刷用紙用の紙やインクを選択する上で考慮すべき要素を説明しています。
- 41ページの『第7章 特殊目的材料の選択』は、事前せん孔用紙およびラベルに関する推奨事項および制限を詳しく述べています。
- 49ページの『第8章 特殊なアプリケーションの開発』は、OCR 用紙およびバーコード用紙の仕様を示しています。
- 51ページの『第9章 用紙とアプリケーションのテスト』は、用紙が連続用紙印刷装置で使用するのに適当かどうかを判断するための技術について説明します。
- 57ページの『第10章 安全上の励行事項』では、多種類の紙や事前印刷用紙に関する作業環境の安全上の考慮事項について説明しています。
- 61ページの『用語集』は、IBM 連続用紙印刷装置の資料で使用される用語について定義しています。

---

## 変更の要約

技術的な変更については、左側欄外に (I) を付けて示してあります。

編集上のみの変更については、何も印を付けてありません。

本書では次のような変更が加えられています。

- I • InfoPrint 3000 に関する情報が追加されました。
- I • 全体を通じて訂正および補足説明が行われています。

